



安全でおいしい水の取組み

取組み

高度浄水処理の導入

より安全でおいしい水道水を供給するため、オゾンの酸化力と活性炭の吸着力を併用した高度浄水処理の導入を推進しています。千葉県水道局では、この高度浄水処理を昭和55年に全国に先駆けて「柏井浄水場」の東側施設に導入し、以降「福増浄水場」や「ちば野菊の里浄水場」にも導入しています。

今後は、老朽化した「栗山浄水場」の浄水機能を近接している「ちば野菊の里浄水場」へ移転し、併せて高度浄水処理を増設することで、安全でおいしい水をより広範囲の地域にお届けできます。



オゾン発生器とオゾン接触池(円内)

古い配水管の対策

布設後40年以上を経過した配水管については、管の状態、重要度や東日本大震災による管の破損を踏まえて、計画的に耐震性のある配水管に取り替えています。

また、配水管の赤サビなどを取り除くため、配水管内を定期的に洗浄しています。



配水管の取り替え工事



配水管の定期洗浄

厳しい水質チェック

千葉県水道局では、安心して水道水を利用してもらうため、法律で定められた51項目を始め、全部で約200項目以上の検査をしています(平成27年4月現在)。

また、給水区域内の62箇所に水質自動監視装置を設置し、残留塩素、色度、濁度などの給水される水の水質情報を常時把握しています。



水質検査の様子

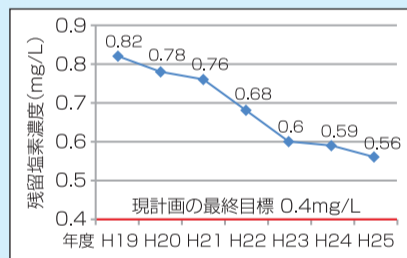


水質自動監視装置

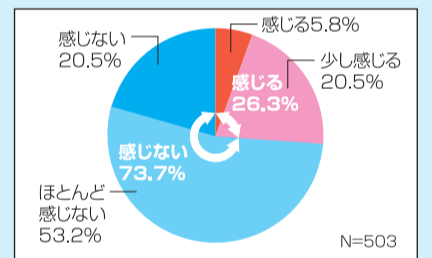
残留塩素の低減化

水道水には、消毒用の塩素が含まれていますが、この量が多いと塩素の臭いのせいで水道水のおいしさが損なわれてしまいます。このため、千葉県水道局では、安全性を確保しつつ水道水に含まれている残留塩素を減らす取組みを行っています。

千葉県水道局の残留塩素の平均値は、平成19年度には0.82mg/Lでしたが、平成25年度には0.56mg/Lまで減少しています。



残留塩素の推移



塩素の臭いの評価(25年度)

浄水場見学会・水道出前講座

お客様に水道水ができるまでの過程や水道水の安全性などについて理解を深めていただけるよう、ふだんは目にするのでできない浄水場の見学会や、小学校、公民館などで水道出前講座を開催しています。



浄水場見学会



水道出前講座

おいしい水づくり推進懇話会

「安全でおいしい水づくり」の各種施策の取組みや水質目標値の設定等に関するご意見・ご要望をいただくため、お客様や学識経験者によって構成する「おいしい水づくり推進懇話会」を設置し、定期的に会議を開催しています。



会議の様子



利き水の様子

水のおいしいクイズのご案内

「おいしい水づくり計画」ホームページでは、毎月クイズを出題しています。応募いただいた方から抽選で「ちばボタ」ペットボトル水1ケースなどの記念品をプレゼントしていますので、是非ご覧ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/keikaku/oishii2/index.html>

